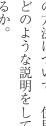
### 集落営農の取り組みは

### ーダーの育成が必要である

にどのような説明をして 立の方法について、住民 集落営農の必要性や設



## 担い手確保対策として

や管理しやすい面があ さずに、地域の農地保全 事から、耕作放棄地を出 管理していく手法である は地域の農地を面として が期待できる。取り組み として有効に機能する事 来的には担い手確保対策 放棄地の防止となり、 は農業生産の維持、 で限界がある。集落営農 域の担い手確保という点 齢化が進展しており、 担い手農家の減少や高

用による集落営農に取り 農の法人化を進めること 組んだり、さらに集落営 であるが、 大になり赤字になりがち 般に農機具への投資が過 で経費が大幅に削減され 機械の共同利

春男 議員

鮫島

## 今後の進め方は

### 鮫島議員

鮫島議員

か。 のように推進していくの 営農は必要だと思う。ど 将来はどうしても集落

# リーダーの育成を

町

くリーダーの育成が必要 見を調整し、まとめてい 定し、集落の現況調査を 地区などモデル地区を選 る。平成19年度は下永吉 推進活動を実施してい 営農組織の構築に向けて 足する地域において集落 座談会もした。地域の意 実施し、その結果を基に 将来、 担い手農家が不

な稲作農家においては、

経営面でも、小規模

# 本町の水田の状況は

進めていく。 回実施しており、

### 使用出来ず荒廃地となっ 湿田である。大型機械が のように捉えているか。 ている状況であるが、ど 本町の水田の大部分が

### 基盤整備促進に 努める

に努める。 整備水田の基盤整備促進 けて準備を進めながら未 持留地区の新規採択に向 整備に着手し、さらに下 遅れている。今年より長 備率は、 平成18年度末で 田・岡別府両地区のほ場 一%と、畑に比べ非常に 本町 の水田の基盤整

## 水田の暗渠排水に

である。地域の代表者を

対象に集落営農塾の開催

### 鮫島議員

先進地研修会を開催する

やリーダー育成に向けた

ための基礎的な研修を数 など、組織を立ち上げる

助金は出せないか。 が、機械借り上げ等で補 当15万~20万円かかる 水田の暗渠排水は、 反

ほ場整備とセットが 望ましい

補助金は出せないか

5ヘクタール以上、 う場合は採択用件があ 25%以上、 わる農地面積の割合が 占める担い手の経営に係 団地に係る農用地面積に 暗渠排水のみの事業を行 耕地事業の中では、 渠排 一団地の受益面積が 水の補助 次に の件

かつ当該事業 り、農用地 利用集積の の実施によ

するなどの 選択要件が 数値が増加

